



約3ヶ月間、閉鎖されたままの実習生寮東門。

5月に入りました。新型コロナウイルスの感染拡大は収まる気配がなく、4月25日には東京・大阪・京都府・兵庫県を対象に3度目の緊急事態宣言が発令されました。そのような状況下、外国人技能実習生の来日再開に関しても、なかなか先が読めない状態が続いています。教室から実習生の皆さんの笑顔や笑い声が消えてから、約3ヶ月。実習生がいない教室は本当に寂しいもので、教室環境整備などで室内に入ると、ふとため息が漏れてしまいます。そんな状況下ではありますが、教室が実習生の皆さんの活気で満たされる日がまた訪れることを信じて、より良い教育活動実現のために授業の改善等に取り組む日々が続いています。

あじけんスコープ Vol.97

～第3回講師研修会が行われました～



同僚の日本語講師を実習生に見立てての模擬授業の様子

先月に引き続き、今月も日本語講師研修会が行なわれました。実習生の入国が止まり、完全に授業がなくなった2月下旬以来、毎月1回のペースで行ない、今回で3回目の研修会となりました。

研修会では、講師が2～3名のグループに分かれ、当校の日本語指導カリキュラムで扱っている文型の中から、特に重要と思われる項目を選び、授業用の指導の手引きを作成しました。

また、「～て！」の形での指示に応じる力を定着させるための学習活動のアイデアをグループ内で出し合い、より効果的な指導方法について論議を深め、その結果を模擬授業の形式で共有しました。

実習生寮管理人 高見徹了 退職のお知らせ

今月のあじけんスコープは、実習生寮管理人として約10年間実習生の生活を見守り続け、4月20日に退職した高見管理人（通称：たかみせんせい）からのご挨拶をお伝えさせていただきます。なお、今後はこれまでの池田・小林の2名に塚越管理人を加えた新たな3人体制で、寮の管理を行っていきます。また、高見は、今後は非常勤の管理人として週1回（土曜日の昼間）、実習生の寮生活の生活全般のサポートを行なうことになっています。

高見です。4月、世の中は桜の咲く時、入社式、入学式の嬉しい事、色々な事で、緊張が続く毎日で、ワクワクしている時と思います。そのような時季に、わたくしは一身上の都合で、きぼう国際外語学院を退社することになりました。当校で出会った皆様とお別れするのは寂しい事ですが、ここでは楽しい思い出が沢山あり、本当に楽しい日々でした。有り難う御座いました。

学校を去る前に皆様にお願ひが有ります。実習生は母国を出る時、一人前の大人と認められ日本に来ます。ところが日本に来て、すべてが未知の世界です。日本語や日本の習慣がまだよく分からないので、納得できない時に何回も先生に聞くのが恥ずかしかったと、帰国後に連絡してくてくれた卒業生がいました。また、きぼうの生活指導等で学んだゴミの分別や、「おはようございます」「こんにちは」「ありがとう」「もうしわけありません」等の様々なあいさつの習慣がとても役に立ったと言ってくれた卒業生もいます。指導者の皆さん、これからも自分の子供を手手の平で大事に育てるように、なお一層、実習生の胸の中に、後世に残る技能実習教育を“きぼう”します。



実習生寮管理人：高見 徹了

あじけん流日本語授業

～生活指導研修会「入国の再開に備えて」～

今月のあじけん流日本語授業は、アジ研で実習生のサポートを担当するスタッフ向けの生活指導研修会についてお伝えします。

生活指導は、実習生の皆さんが日本で安心安全に実習をするために、しっかりと身に付けてほしい事を、実習生の母語で指導するものです。日本で実習をするにあたっての心構えはもちろんのこと、日常生活に関すること（ごみの捨て方、部屋でのマナー、トイレの使い方など）、学習の仕方（メモをとる習慣の大切さ、カンニングの禁止など）まで幅広く指導を行います。今回の研修会には、来日後に母語で生活指導を行う5ヶ国語それぞれの母語担当指導員と、入寮時から配属までの実習生の生活全般を指導するスタッフ、そして実習生の寮生活のルールを指導する管理人、授業を通して生活指導に携わる教務課スタッフが参加しました。

研修では、生活指導の更なる充実を図るために、昨年8月の入国再開から始まった14日間の寮待機期間での問題や、待機期間終了後の生活の様子などを共有し、改めて、どのタイミングで、何を重点的に指導するかなどを話し合いました（写真1, 2）。実習生のみなさんが無事に当講習を終了するだけでなく、実習先でも出来るだけ早く生活、習慣に慣れ、実習を成功させるためにも、この来日後の生活指導は大変重要なものだと考えております。実習で必要な「日本語」と「生活」、この2本柱の基礎をしっかりと当校で身に付けてもらうため、これからもスタッフ一丸となって実習生を指導してまいります。



写真1：各国担当者、スタッフ、管理人による意見交換



写真2：それぞれの経験を話し、共有しました



写真3：生活指導で使用する実物教材の確認を行ないました



写真4：参加者で記念撮影

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧いただけます。